





## ゴーラフ場予定地より

尙私達の世界共通の名前  
即ち学名では「ボルフィラ  
ネラ」と称しています。  
私は植物なので葉綠素を  
もつていて同化作用を営み  
ます。そのほかにフィヨシ  
ムスリ(赤色) フィヨシ  
ヤン(藍色) カロミン(赤  
色) カロナノイド(赤+橙  
色) 黄色などの色素を含有し  
て同化作用を助けています。  
これらは色素の配合で漁場  
によつて、又時期的に種々  
の色沢を帶びて、私独特の  
黄緑と色を示し、これが  
問題にされるに分けられ、  
売られていきます。  
私の家系は古く、古代か  
ら連綿として今まで絶え  
ることなく続いています。  
人様に育てられるように  
なつたのは、五代將軍義朝  
時代、約二三百年前から  
でそれには海岸の岩や竹等  
に天然に着生したもの  
をバラ乾にして私用され  
たしかめおこう

（海苔）  
ていたようです。一番はじめに、すなどにつけて人工的に養殖されるようになつたのは、開田川の河口附近で、當時の養殖法を他国に伝授するもので、将軍より重賞が贈られました。明治二十年頃から三十年頃にかけて全国に水産試験場が設置され、指導激励するようになつて、年に普及しました。その後各方面から研究が進められ、その間の習性から生涯の生活状態を確かめられ、急速に技術は進歩し、生産も上り、最近では室内等で人工採苗する域まで達し、飛躍的に増産されることになりました。人間様の頭の良さと、その努力に対し、我々々は深く敬意を表しています。（漁協 工藤靖夫先生）

町政報告会

公民館だより

身元  
しらべ

(海苔)

